

【第5学年】 児童の実態・課題及び授業改善策

| | 児童の実態・課題 | 授業改善策 |
|-----|--|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ○自分の意見をもてる児童は比較的多い。 ●文章を読み取ることを苦手とする傾向が見られる。 ●漢字の定着に課題がある。 ●相手の話の内容を理解し、更に深めたり、広げたりすることが苦手な傾向が見られる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の内容を「始め」「中」「終わり」など文章を構造化し、視覚化して示し、まとまりとして文章の流れを捉えられるようにする。 ・漢字小テストを行う際には自主学习ノートを使用し、各自に応じたテスト練習ができるようにする。 ・相手の話の意図を理解するために、メモを取りながら聞いたり、自分の考えをノートに書いてから交流するなどの工夫をしたりしていく。 ・相手の意見に「同じ」「似ている」「付け足し」などの考えを加えて、自分の意見を広げていけるようにしていく。 |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> ●さまざまな資料から必要な情報を正確に読み取ることが苦手な傾向が見られる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を明確にし、何について調べるのかを理解させる。 ・児童一人一人が教科書や資料集、タブレットPCを活用して調べ、ノート等にまとめる時間を多く取り入れるようにしていく。 |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> ●文章の内容を正しく理解して立式することが苦手である。 ●計算ミスをする児童が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・数直線などを活用し、正しく立式できるように繰り返し指導する。また、数字や単位を丁寧に書くことを指導していく。 ・式の意味や筆算の順序について理解し、正しく計算できるよう指導する。また検算を行い、本当に正しい答えか確かめる指導を行っていく。 |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> ●自分の考えをノートに書くことはできるようになってきたが、理由や根拠を具体的に挙げて表現することは苦手な児童もいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・個人の考えをグループやクラスで共有し、友達の考えに近いものを選ばせたり、参考にさせたりするよう指導していく。 ・予想や実験方法を考える場面で、個人の考えを書く時間を十分に確保し、その後、グループや全体で共有する時間を取ることで、自分の考えと比べ、広げたり深めたりできるようにする。 |
| 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> ●自分の思いはあっても、全体の場で発表することに消極的な傾向が見られる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・息を使わない楽器での器楽合奏を行い、グループごとに練習をしたり、どのように練習すればよくなるなどの話し合いを設けて、全体の前での発表会を行う。 |
| 図工 | <ul style="list-style-type: none"> ●自分の表したいことを見付けたり、表したりすることが苦手な児童がいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・アイディアスケッチをしたり、友達の作品を鑑賞したりすることで、自分の表したいことや様々な表現があることを理解し、自らの表現を深められるようにする。 |
| 家庭 | <ul style="list-style-type: none"> ○家庭内の仕事や調理器具などに興味・関心をもつ児童が多い。 ●実習ができない分、より実感を伴った理解が難しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教材、教具を工夫して児童が具体的に理解しやすくするようにする。 ・調理等の実習は、できるだけ家庭学習に取り入れるなどして、対応していく。 |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> ●比較的どの児童も積極的に参加している。技能面や身体的な能力に関しては、差が見られる。 ●基本的な技や動きの定着にも差が見られる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・個人競技やチーム競技などの場面においても、グループやチームを設定し学び合いや教え合いの場面を設ける。 ・ワークシートにポイントを記入したり、ICTを活用したりと自分の動きや手本となる動きを随時確認できる場面を設定する。 |
| 外国語 | <ul style="list-style-type: none"> ●自分の考えや思いを英語で話したり、書いたりすることが苦手な児童が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ALTとの単語の発音練習やインタビュー活動などを多く取り入れ、英語に親しむよう工夫していく。 ・英単語を書く活動を取り入れ、徐々に慣れるようにしていく。 ・パフォーマンステストを行い、担任が児童一人一人の知識及び技能を把握するようにしていく。 |